

第2章 江東区の現状と課題

1 スポーツを取り巻く現状

増加が続く人口の推移や、区内スポーツ施設の配置状況、水彩都市・江東ならではの取組を紹介するなど、区の現状を記載しています。

2 アンケート調査実施の概要

区民3,000人を対象に実施したアンケートの結果を記載しています。

3 スポーツ推進に向けた課題

区民アンケートや現状分析を踏まえ、スポーツ施策の課題を以下のようにまとめました。

(1) 江東区の特徴を生かしたスポーツの推進

○2020年大会に向けた着実な準備と機運の醸成

○“水彩都市・江東”として豊かな水辺を生かしたスポーツの振興

(2) ライフステージ等に応じたスポーツを楽しむ環境の創出

○子どもが地域の中でスポーツ・運動を楽しめる環境づくり

○子育て・働き盛り世代に対するスポーツのきっかけづくり

○高齢者が気軽にスポーツに取り組める環境整備

○障害者がスポーツに親しめる環境整備と障害者スポーツへの理解促進

(3) スポーツを通じた地域活力の向上

○指導者の育成や活用機会の拡充、スポーツ推進委員の活動の支援

○地域スポーツクラブの認知度向上と活動の支援

○地域団体や民間企業等との連携による地域活力の向上

○スポーツを生かした観光振興

(4) 気軽にスポーツを楽しめる場の確保

○スポーツ・運動ができる場の確保

○江東区長期計画に基づく着実な施設・設備の整備

○多様な媒体・手段による情報発信

4 目指すべき方向性

【基本理念】

区民の誰もが、身近な地域で「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめる環境を充実させ、2020年東京オリンピック・パラリンピックの中心地として、誇りあるスポーツ環境を創造します。

【キャッチフレーズ】

「元気な未来へ」
Sports Garden 江東！

【計画が目指すイメージ】

本区のスポーツを支える主体が相互に連携して、区民が主体的に「する・見る・支える」スポーツに取り組むことを促進し、区民の健康維持・増進や地域コミュニティの活性化を進め、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、誰もが元気で生き生きと暮らせる社会の実現を目指します。

【数値目標】

成人の週1回以上のスポーツ実施率を、概ね10年間で3人に2人(65%程度)になることを目指します(平成26年4月現在のスポーツ実施率は42.5%)。

第3章 具体的な施策展開

基本目標1 江東区の特徴を生かしたスポーツの推進

施策展開1 オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進

○オリンピック・パラリンピアンと触れ合う機会の提供

○スポーツボランティアの育成など

施策展開2 江東区の豊かな水辺を生かしたスポーツ振興

○区民が気軽にカヌーに乗れる環境整備等のカヌー振興

○セーリング・カヌー選手の競技力向上のためのジュニア育成など

基本目標2 ライフステージ等に応じたスポーツを楽しむ環境の創出

施策展開3 こどもの体力向上

①幼児期からのこどもの健康・体力向上を目指した取組

【具体的内容】

○スポーツセンターにおける幼児を対象とした各種教室の実施

○0歳児の親子を対象としたスポーツ教室事業の検討・実施など

②体育の授業や小学校のクラブ活動、中学校の部活動の支援

【具体的内容】

○区内スポーツ施設でのクラブ活動・部活動支援

○外部指導員の採用による継続的な部活動支援など

③こどもの肥満や生活習慣病予防のための取組

【具体的内容】

○こどもが対象の栄養や食育の視点を取り入れた教室事業の展開

④親と子が一緒に体を動かす機会の提供

【具体的内容】

○「子育てひろば」の開催による幼児と保護者が過ごす場の提供

○グランチャ東雲における親子の健康づくりプログラムの実施など

施策展開4 働き盛り・子育て世代の健康づくり

①成人の生活習慣病予防など健康づくりに関する取組

【具体的内容】

○生活習慣病予防の各種教室や相談事業の実施

○ランニングステーション事業の活用など

②気軽にスポーツに取り組める機会の提供

【具体的内容】

○施設の区民無料公開等によるスポーツのきっかけづくり

○ニュースポーツ等の誰でも参加できる事業の実施など

③親と乳幼児と一緒に利用できる環境の整備

【具体的内容】

○トイレ内のベビーチェアやおむつ替えシート設置等の環境整備

○施設内で未就学児と保護者が無料で利用できる「キッズパーク」の開催など

施策展開5 高齢者の健康づくり

①高齢者が気軽に体を動かせる機会の提供

【具体的内容】

○「転ばぬ先のトレーニング」等、高齢者の介護予防事業の実施

○ターゲットバードゴルフ等、高齢者が参加しやすい事業の実施など

②介護予防の推進

【具体的内容】

○機能回復訓練や地域住民主体の活動支援による介護予防の推進

○ロコモティブシンドローム(※)対策の必要性周知や関連教室の開催

施策展開6 障害者の健康づくり

①障害者がスポーツ活動を楽しめる機会の提供

【具体的内容】

○障害者向けの教室実施や大会協力

○内部河川等を利用した障害者向けカヌー体験教室の検討・実施など

②障害者スポーツ指導者の発掘・育成

【具体的内容】

○指導者養成講習会への参加や初級障害者スポーツ指導員の資格取得

の促進

③学校教育における障害者スポーツへの理解促進

【具体的内容】

○小中学校における障害者スポーツについて学ぶ取組の実施

○障害者スポーツの国際大会への区内小学生の招待によるパラリンピック教育の実施

基本目標3 スポーツを通じた地域の活力向上

施策展開7 指導者の発掘・育成

【具体的内容】

○課題整理と人材紹介のあり方についての検討

○オリンピックの直接指導等による教師の指導力向上

施策展開8 スポーツ推進委員の活動支援

【具体的内容】

○パンフレット作成による認知度向上

○研修等におけるスポーツセンター施設の提供による活動の支援

施策展開9 地域スポーツクラブの活動支援

【具体的内容】

○区報等を利用した認知度向上

○行政と地域スポーツクラブの連携による障害者・高齢者向けの運動の場の提供など

施策展開10 地域との連携

【具体的内容】

○町会・学校等と連携したスポーツイベントの開催

○地域のマンション理事会等との共同での運動会の実施など

施策展開11 スポーツによる観光振興

【具体的内容】

○区内の史跡やオリンピック予定会場等を巡るイベントの検討・実施

○区観光協会ホームページでのスポーツ情報紹介など

基本目標4 気軽にスポーツができる場の確保

施策展開12 場の確保

【具体的内容】

○豊洲西小学校における体育館・プール等施設の開放事業実施

○竪川河川敷公園などでの気軽に運動を楽しめる場の提供など

施策展開13 計画的な施設整備

【具体的内容】

○江東区長期計画に基づく計画的な改修工事の実施

○施設への省エネタイプの機器導入やバリアフリー設備導入など

施策展開14 情報発信

【具体的内容】

○ホームページに加えSNSなど多様な手段を用いた情報発信の充実

○情報格差への配慮や口コミネットワークを活用した情報提供など

第4章 計画の推進体制

○成果、課題の検証等を行う場として「(仮称)江東区スポーツ推進連絡会議」を設置します。

○スポーツを支える主体が役割分担と連携を図りながら事業展開を図る必要があります。各主体の役割等について記載しています。



(仮称)江東区スポーツ推進計画(素案)について具体的な箇所(○章○について等)へのご意見をお聴かせください。
意見募集締切:12/15(月)必着

氏名		性別	男・女
住所			
年齢	20代以下	30代	40代 50代 60代 70代以上

※いただいた個人情報、本パブリックコメント以外の目的には使用しません。

※【ロコモティブシンドローム】筋肉や関節等の機能が低下し、要介護や寝たきりになるリスクの高い状態